PRESS RELEASE 2026 年 10 月 29 日
No.2026-034

取材のお願い

JAPANFOUNDATION 国際交流基金

Kiroro 玉城千春、稲嶺幸乃とマレーシアのアーティストが共演

～日本・マレーシア外交関係樹立 70 周年記念コンサート開催決定！～



国際交流基金（JF）は 2027 年 1 月、マレーシアにおいて、日本マレーシア外交関係樹立 70 周年を記念する音楽公演を開催します。日本からはマレーシア国内でも広く知られる沖縄出身のミュージシャン玉城千春（Kiroro）、同じく沖縄出身で伝統文化・音楽の伝承に尽力している稲嶺幸乃を派遣し、現地のアーティストと共演します。

JF は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を通じて、世界各地との人的交流を促進し、相互理解と信頼関係の構築を通じて、より豊かな国際社会の実現を目指す独立行政法人です。

今回の公演では、15 世紀に琉球王国とマラッカ王国間で行われた海洋交流の歴史を背景に、沖縄とマレーシアのアーティストが集い、音楽による新たな交流を創出し、日馬両国の文化交流のさらなる深化を図ります。

玉城千春は、音楽ユニット Kiroro のメンバーであり、その楽曲「未来へ」はマレーシアにおいて高い知名度を有しています。一方、沖縄の伝統音楽の継承・発信に取り組む稲嶺幸乃は、マレーシアで同様に伝統文化の継承に取り組む Tuni Sundatang および Dabra Sia とのコラボレーション楽曲を披露します。

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

1 月 23 日（土）に Zepp Kuala Lumpur で開催する公演では、これらの出演者に加え、マレーシアのマラ工科大学伝統音楽パフォーミンググループが出演し、ステージに華を添えます。また、当日は沖縄県シンガポール事務所による沖縄観光 PR を実施し、音楽を通じた文化交流とあわせて沖縄の魅力を発信します。

さらに、同公演以外の日程では、稲嶺幸乃と Tuni Sundatang、Dabra Sia を中心としたマレーシア国内ツアーを実施します。ポピュラー音楽と伝統音楽の両面からアプローチすることで、両国の文化への理解と関心のさらなる醸成を目指します。

本事業は、日本と ASEAN の次世代の交流促進と人材育成を目的とする包括的な人的交流事業「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施します。

記

公演名　：チャンプルー ～日本マレーシア外交関係樹立 70 周年記念事業～
出演　：玉城千春（Kiroro）、稲嶺幸乃、Tuni Sundatang、Dabra Sia、マラ工科大学伝統音楽パフォーミンググループ
日程　： 2027 年 1 月 23 日（土）
会場　： Zepp Kuala Lumpur
主催　：国際交流基金（JF）、沖縄県シンガポール事務所
共催　：在マレーシア日本国大使館
企画制作：Zepp Kuala Lumpur
協力　：Universiti Teknologi MARA (UiTM)
後援　：Ministry of Tourism, Arts and Culture Malaysia (MOTAC)、日本政府観光局（JNTO）

【マレーシア・ショーケースやワークショップ等の交流事業】
日程　：2027 年 1 月 21 日（木）～1 月 26 日（火）
会場　：Nadir Studios Malaysia 他
出演　：稲嶺幸乃、Tuni Sundatang、Dabra Sia 他

アーティストプロフィール

玉城千春



沖縄県読谷村出身のシンガーソングライター。
1995 年に Kiroro を結成し、ボーカルと作詞作曲を担当。「長い間」「未来へ」「Best Friend」など数々のヒット曲を生み出した。2021 年よりソロ活動を再開し、音楽活動に加えて教育・文化活動にも積極的に取り組む。現在は沖縄を拠点に活動するほか、マレーシアの児童養護施設への支援や、マレーシアと沖縄の子どもたちをつなぐ交流事業を展開。音楽を通じた国際交流や次世代育成に力を注ぎながら、沖縄とアジアを結ぶ文化発信を続けている。

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

稲嶺幸乃



Photo by Raito

沖縄出身の歌手・三線奏者。
魂のこもった歌声と、祖父から受け継いだ三線の音色を武器に、伝統的な琉球音楽と現代的な音楽スタイルを融合した独自の表現を展開している。世界一周の船旅をきっかけに本格的な音楽活動を開始し、2016 年より「三線がーる」として国内外でライブを展開。台湾、フィリピン、インドネシア、マカオなど海外でも演奏を重ねている。2020 年にはアルバム『こころのねいろ』をリリース。さまざまなジャンルのアーティストとの共演や文化交流事業を通じて、沖縄文化の魅力を国内外へ発信している。

Tuni Sundatang



Photo by Adrian Thomas

サバ州ラナウ出身の 6 人組フォークロック・アンサンブル。
2021 年に結成され、ドゥスン民族の伝統文化を現代に伝えることを目指し、独創的な器楽作品を発表している。絶滅の危機にある先住民族の伝統楽器であるスンダタン（舟形リュート/伝統弦楽器）、ソンポトン（口琴オルガン）、クリンタンガン（ゴング楽器群）を現代的なロックサウンドと融合させ、伝統に根ざしながらも新しさを感じさせる独自の音楽を生み出している。主にインストゥルメンタル作品を制作しており、それぞれの作品には固有の物語が込められている。また、楽曲タイトルにはボルネオの風習や風景、人々のアイデンティティが反映されている。2026 年、デビューEP「Alunan dari Tanah Tinggi」をリリース。

Dabra Sia



サバ州出身のシンガーソングライター。
サバの人々や文化、そこに息づく物語からインスピレーションを得て楽曲を制作している。独特の歌声で知られ、スガンドイ州大会チャンピオンの経歴を持つ。先住民族の言語であるドゥスン語と伝統的な歌唱スタイルを用いて、地域文化の魅力や大切さを伝えている。Tuni Sundatang のボーカリストとしても活動し、サバ州の豊かな音楽文化を国内外へ発信している。

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp

マラ工科大学 伝統音楽パフォーミンググループ



マレーシアのマラ工科大学（Universiti Teknologi MARA (UiTM)）音楽学部を拠点とする伝統音楽オーケストラ。在学生および卒業生で構成され、マレーシアの伝統音楽・舞踊文化の継承と発信を担っている。現在は、UiTM 音楽学部上級講師でありマレー伝統音楽の専門家である Kamrul Hussin 氏の指揮・指導のもと、マッ・ヨン、ワヤン・クリッ、ディキール・バラット、マレー・ガムランなど多様な伝統芸能を取り入れた演奏活動を行っている。本公演では、同オーケストラのメンバー7 名が出演する。

国際交流基金（JF）について

本事業は、JF が 2024 年から 10 年間にわたって展開する、ASEAN を中心とするアジア諸国と、互いの価値を認め合う、包括的な人的交流プロジェクト「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」の一環として実施されます。

日本語パートナーズ派遣事業と、双方向の知的・文化交流事業を軸に、心と心のふれあいを通じて、多層的な人的ネットワークの強化や、対象地域と日本との将来にわたる強い信頼関係の構築を目指します。

◆日本語パートナーズ派遣事業
アジアの中学・高校などで日本語を教える教師やその生徒のパートナーとして、授業のアシスタントや日本文化の紹介をする人を派遣しています。
◆双方向の知的・文化交流事業
相互理解の上に成り立つコラボレーションの機会を創出することで、人と人の強い絆を培い、世界の架け橋となる次世代人材を育てます。

「次世代共創パートナーシップ－文化の WA2.0－」公式サイト（https://asiawa.jpf.go.jp/）では、これまでの取り組みを記事や動画で掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

以上

この件に関するお問い合わせ：
国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp